



よろこびの 食文化の 創造

お客様の感動が私たちの喜びです
日本一質の高い外食企業を目指します



2026年3月期 《決算補足説明資料》



株式会社 木曽路

東証プライム【証券コード:8160】

2026年5月13日

会社概要

会 社 名	株式会社木曽路
本 社 所 在 地	名古屋市昭和区白金三丁目18番13号
創 業	1950年(昭和25年)5月
設 立	1952年(昭和27年)9月
資 本 金	126億48百万円(2026年3月期)
代 表 者	代表取締役会長 吉江 源之 代表取締役社長 中川 晃成
従 業 員 数	正社員 1,364名(2026年3月31日現在・連結)
事 業 内 容	木曽路(しゃぶしゃぶ・日本料理) 大將軍・くいどん(焼肉専門店) とりかく(鶏料理専門店)・大穴(居酒屋) 鈴のれん(和食旬彩処) からしげ(からあげ専門店)
連 結 子 会 社	株式会社建部食肉産業
上場証券取引所	東京証券取引所 プライム市場 名古屋証券取引所 プレミア市場
証 券 コ ー ド	8160
単 元 株 数	100株



	ページ		ページ
決算(連結)ハイライト	4P	設備投資	11P
売上高増減分析	5P	店舗配置	13P
営業利益増減分析	6P	2027年3月期計画	14P
貸借対照表(連結)	7P	業績推移	15P
キャッシュ・フロー(連結)	8P	株主還元	16P
業態別売上高	9P	株式情報	18P
既存店推移(売上高・客数・客単価)	10P		



1. 売上高・営業利益とも5期連続増収増益

- ・木曽路・居酒屋・鈴のれん業態が堅調に推移し、売上高は前年比+2.5%
(既存店 前年同期比 +2.6%増収)
- ・生産性向上・省エネ推進により人件費上昇を吸収し、営業利益は前年比+7.6%

2. 将来に向けた設備投資の実施

- ・出店 3店舗、改築・改装(洋室化等) 16店舗
- ・焼肉部門の強化を目的として、年間100百万円程度の大規模修繕(収益的支出)を実施した
- ・省エネ機器への更新を積極推進

3. 財政基盤の強化

- ・内部留保の積み上げ 当期純利益1,728百万円、配当支払△1,351百万円 ⇒ +376百万円
- ・投資有価証券評価差額の増加 881百万円
- ・自己資本比率は65.1%へ上昇(前年差 +0.3pt)

4. 営業キャッシュ・フローが大幅改善

- ・利益改善・棚卸資産圧縮等により営業CFは前年比+3,997百万円
- ・遊休資産の売却 249百万円流入
- ・現金及び預金残高が増加

売上高 545億円、営業利益 29億円 5期連続増収増益

- ・木曽路・居酒屋・鈴のれん業態が堅調に推移し、売上高は前年比+2.5%
- ・食材調達見直し・高付加価値商品の販売強化により売上総利益率改善+0.25%
- ・生産性向上・省エネ推進により人件費上昇を吸収し、営業利益は前年比+7.6%

（単位：百万円、％）

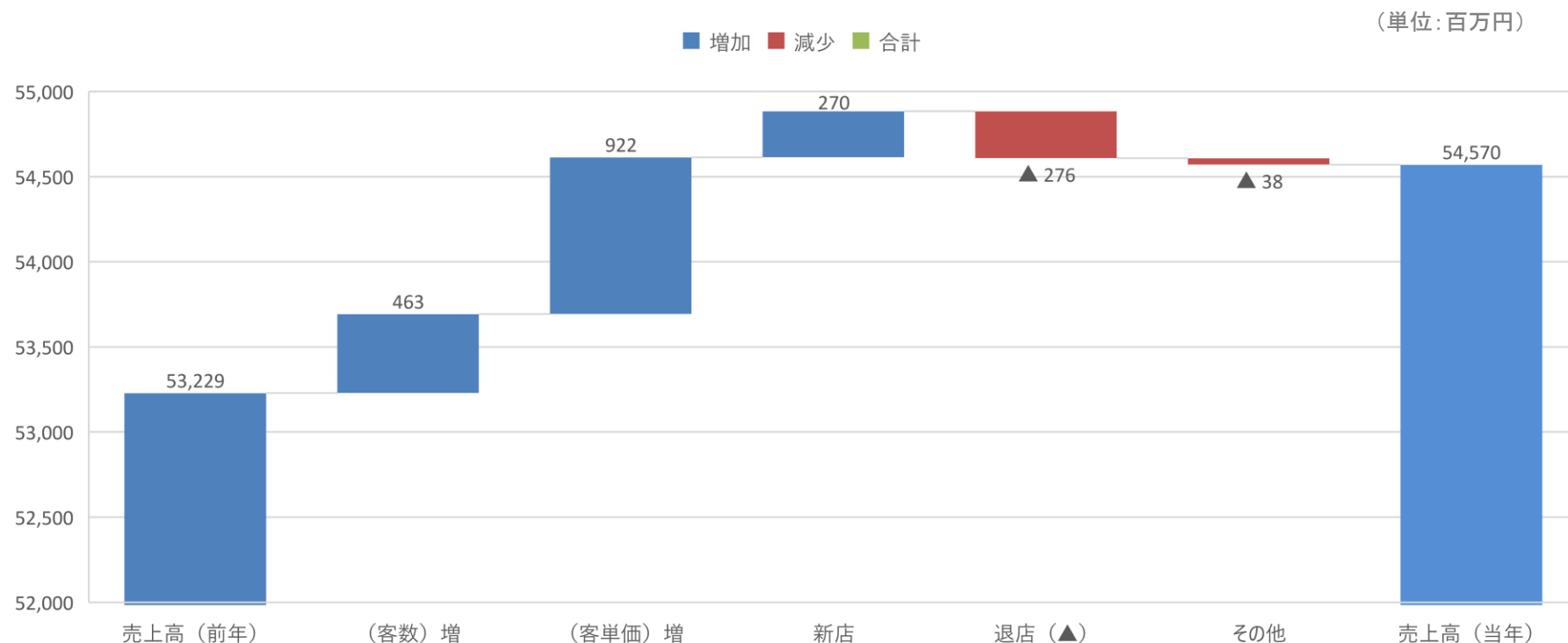
	2025/3期	2026/3期	前年同期比		2027/3期		中期計画 （最終年）
	実績	実績	増減額	増減率	計画	増減率	計画
売上高	53,229	54,570	1,340	2.5	55,000	0.8	60,000
営業利益	2,708	2,913	205	7.6	3,200	9.8	3,200
経常利益	2,754	2,929	174	6.3	3,250	11.0	3,250
親会社株主に 帰属する 当期純利益	※3,166	1,728	▲1,438	▲45.4	2,100	21.5	2,100

※2025年3月期の当期純利益は法人税等調整額(益)1,310百万円を含む

■ 売上高の増加要因

- ・木曽路業態を中心に個人需要・ハレの日需要を取り込み、売上高は前年比+2.5%の増収
- ・ランチ施策強化や高付加価値商品の販売拡大により客単価・来店客数が堅調に推移
- ・焼肉業態では新規出店・アプリ販促強化により集客力向上

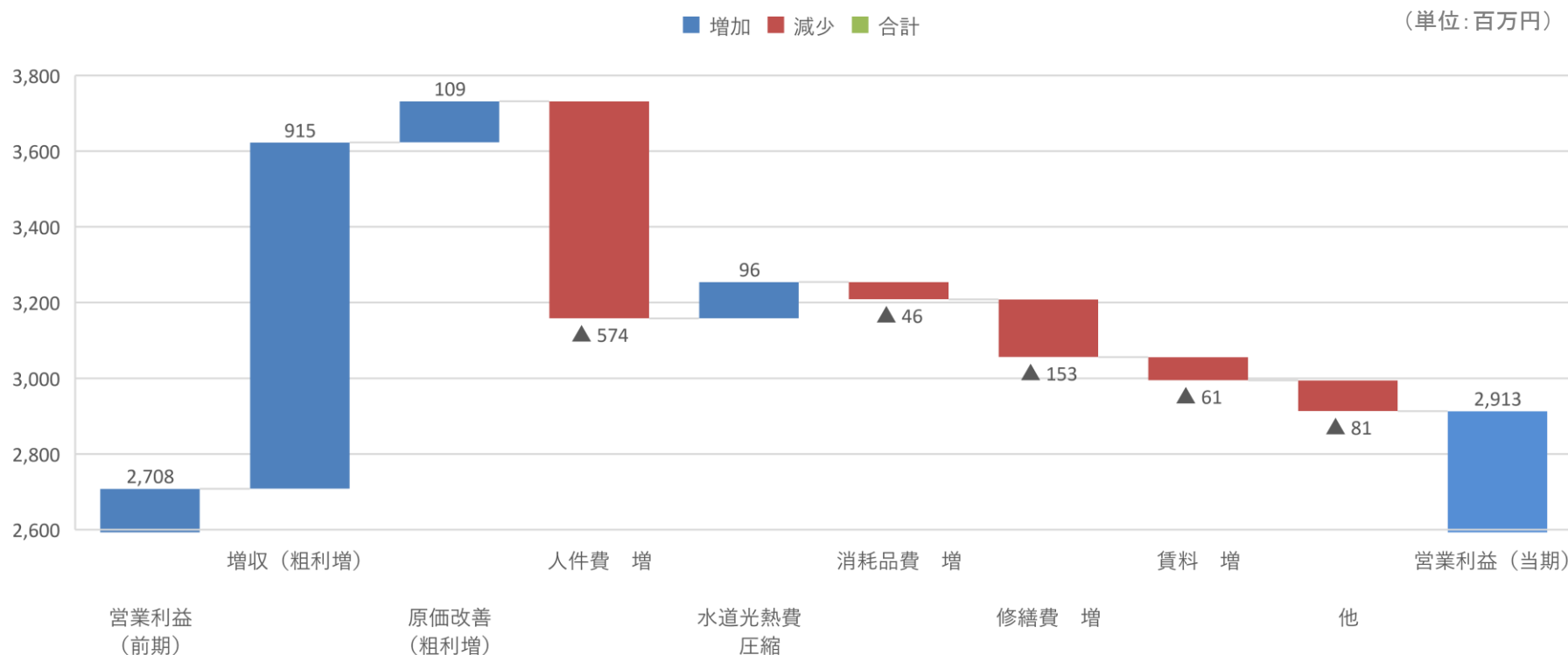
増収：1,340百万円



■ 営業利益の増加要因

- ・食材調達見直し・高付加価値商品の販売により売上総利益率が改善
- ・シフト管理徹底や省エネ推進等によるコストコントロールを実施
- ・人件費・水道光熱費上昇を吸収し、営業利益は前年比7.6%増益

増益：205百万円



貸借対照表（連結）

※当連結会計期間末 総資産 484億円 17億円増
純資産 315億円 12億円増、自己資本比率 65.1% 0.3%上昇

資産の部

	2026年3月末	前期末増減	主な要因
流動資産	20,810	1,307	
現預金	15,268	+1,878	営業CF、 資産売却等
売掛金	1,949	▲74	回収
棚卸資産	2,845	▲723	圧縮
固定資産	27,687	+408	
有形 固定資産	16,626	+375	新店・改装
無形 固定資産	1,739	▲261	償却
投資その他 の資産	9,321	+294	有価証券時価評価
資産合計	48,498	+1,716	

負債・純資産の部

（単位：百万円）

	2026年3月末	前期末増減	主な要因
流動負債	13,830	+617	
買掛金	1,544	+412	先行仕入
未払法人税等	565	+98	
固定負債	3,080	▲146	
長期借入金	67	▲117	
資産除去 債務	1,332	+12	
負債合計	16,911	+470	
純資産	31,586	+1,245	通期損益、 前期末、中間配当、 有価証券評価、
負債純資産 合計	48,498	+1,716	

キャッシュフロー（連結）

- ・利益改善・棚卸資産圧縮等により営業CF 前年比 3,997百万円増加
- ・遊休資産の売却 249百万円流入
- ・現金及び預金残高 1,878百万円増加

（単位：百万円）

	2025/3期	2026/3期	増減額	主な内容
営業活動による キャッシュ・フロー	1,434	5,431	+3,997	・税金等調整前利益の増加 ・棚卸資産の減少 ・仕入等の債務の増加
投資活動による キャッシュ・フロー	▲1,558	▲1,809	▲251	・新規出店・改装による支出 ・有形固定資産売却による収入
フリー キャッシュ・フロー	▲123	3,622	+3,746	
財務活動による キャッシュ・フロー	▲1,078	▲1,743	▲665	・長期借入金の減少による支出 ・配当金支払い (25年3月期末1株あたり33円)
現金及び現金同等物の 期末残高	13,389	15,268	+1,878	

業態別売上高推移

- 木曽路業態

 - ・ランチ需要・ハレの日需要の取り込みにより客数が増加
 - ・季節毎イベントの開催・お値打ちなお昼の定食の提供
 - ・コア商品の「しゃぶしゃぶ」においてお客様がお肉の量を選べるコースの設定
 - ・サイドメニューの拡充による来店客数の増加及び客単価の上昇
- 焼肉業態

 - ・大將軍業態：顧客管理の徹底、メニューの拡充、くいどん業態：収益構造の適正化着手
 - ・アプリ販促やイベント施策を強化し、新規出店効果も加わり集客力が向上
- 居酒屋業態

 - ・新規出店（2店舗）と宴会需要の回復
- 鈴のれん業態

 - ・一部店舗にてモーニング営業を開始
 - ・屋号を“和食旬彩処 鈴のれん”に変更し、お値打ちな本格和食の提供

(単位:百万円)

※総店舗数189店舗 (2026年3月末日現在)	2025/3期	2026/3期			既存店
	実績	実績	増減額	増減率	前年比
木曽路(126店舗)	42,222	43,405	+1,182	+2.8%	103.1%
焼肉(44店舗)	7,941	7,919	▲22	▲0.3%	99.3%
居酒屋(10店舗)	1,219	1,343	+124	+10.2%	104.6%
鈴のれん(5店舗)	666	735	+69	+10.5%	109.9%
その他 (からしげ4店舗+物販等)	1,541	1,500	▲40	▲2.7%	

業態別既存店売上・客数・客単価推移(前年同月比)

(単位: %)

売上高	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	通期
木曽路	105.9	105.5	98.4	102.2	107.3	99.3	104.8	109.4	102.6	104.6	99.6	97.8	103.1
焼肉	97.2	103.8	93.9	99.3	102.2	90.2	97.8	105.1	102.1	102.0	95.4	100.5	99.3
居酒屋	103.2	104.7	105.5	105.3	103.0	105.7	105.4	99.4	106.3	105.1	104.7	106.9	104.6
鈴のれん	106.1	110.6	102.0	106.8	110.4	100.7	111.9	119.7	112.2	121.5	109.1	104.8	109.9
全業態	104.3	105.2	97.8	101.8	106.2	97.9	103.7	108.5	102.6	104.4	99.1	98.4	102.6

客 数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	通期
木曽路	108.3	105.9	99.7	104.7	106.2	98.0	102.5	103.6	101.1	102.7	98.6	96.0	102.1
焼肉	94.4	100.8	90.6	94.1	94.9	80.9	93.1	98.7	94.4	94.4	90.6	93.9	93.4
居酒屋	103.2	102.5	105.7	104.6	100.5	105.4	106.0	97.8	105.3	101.2	102.4	107.0	103.5
鈴のれん	103.5	110.3	103.2	111.5	119.5	107.4	118.8	123.1	116.7	118.1	115.3	112.6	113.4
全業態	105.1	104.8	98.1	102.6	103.6	94.8	101.1	102.6	100.1	101.2	97.3	96.1	100.5

客単価	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	通期
木曽路	97.8	99.6	98.7	97.6	101.0	101.4	102.2	105.6	101.5	101.9	101.1	101.9	101.0
焼肉	103.0	103.0	103.7	105.6	107.7	111.5	105.1	106.5	108.1	108.0	105.3	107.1	106.3
居酒屋	100.0	102.2	99.8	100.7	102.5	100.3	99.4	101.6	100.9	103.9	102.2	100.0	101.1
鈴のれん	102.5	100.2	98.9	95.8	92.4	93.8	94.2	97.2	96.2	102.9	94.7	93.0	96.9
全業態	99.2	100.4	99.7	99.3	102.5	103.2	102.6	105.8	102.5	103.2	101.8	102.4	102.0

■ 設備投資①

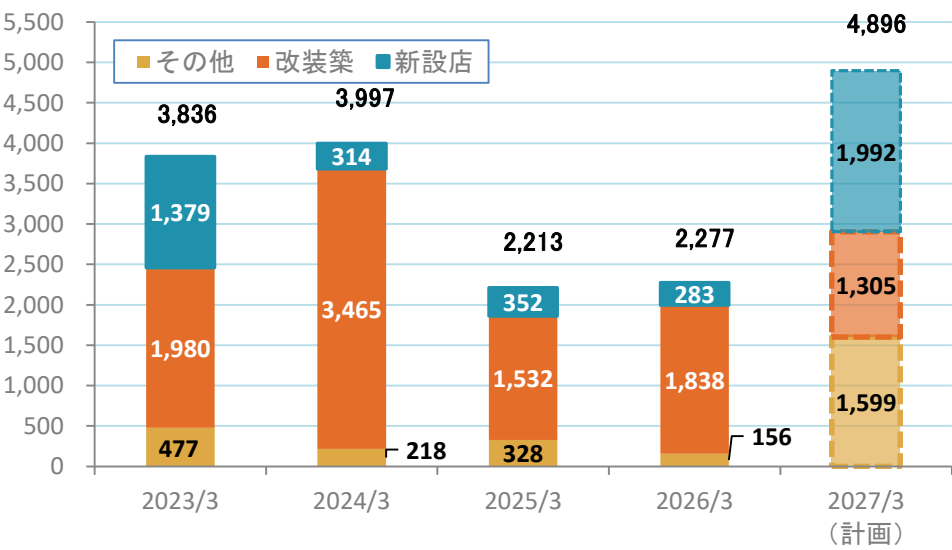
実績と計画

(単位:百万円、%)

	2025/3期(実績)		2026/3期(実績)		2027/3期(計画)		
	金 額	増減率	金 額	増減率	金額	増減率	備考
設備投資額 計	2,213	▲44.6	2,278	3.0	4,896	114.9	
新設店	352	11.9	283	▲19.4	1,992	601.7	新規出店10店
改築・改装	1,532	▲55.8	1,838	20.0	1,305	▲29.0	洋個室化13店他
情報システム・工場	328	50.5	156	▲52.5	1,599	924.7	POS、基幹システム
減価償却費	1,486	▲3.4	1,479	▲0.3	1,551	4.8	

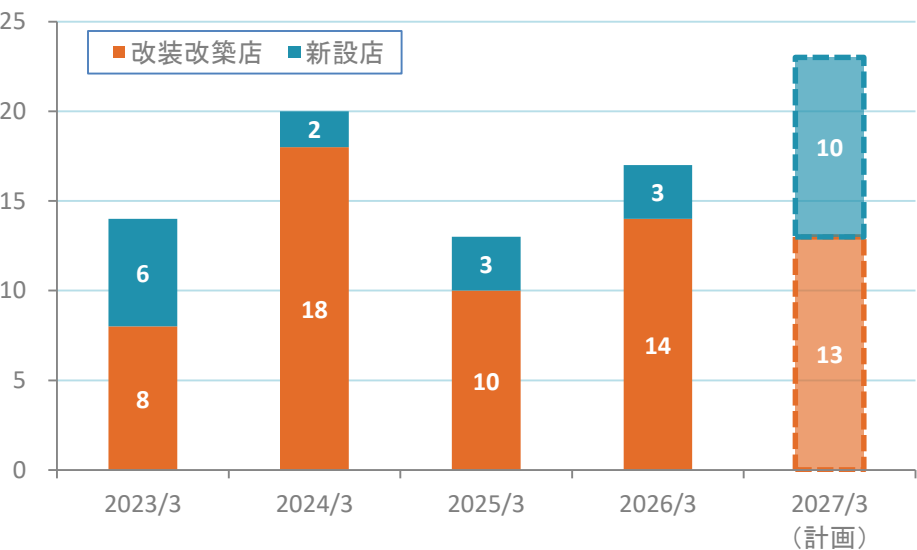
設備投資額推移

(単位:百万円)



店舗異動推移

(単位:店)



設備投資②

店舗異動実績

(単位: 店舗)

	2025/3期(実績)				2026/3期(実績)			
	新 設	改築・改装	業態転換	撤 退	新 設	改築・改装	業態転換	撤 退
木曽路		2				14		
大將軍			(▲1)	1				
くいどん	1		1	3	1			4
とりかく				1				
大穴	2				2			
鈴のれん						2		
その他				1				
合計	3	2	1	6	3	16	0	4

2026年3月期新規出店実績



くいどん 南陽店
2025年4月16日開店

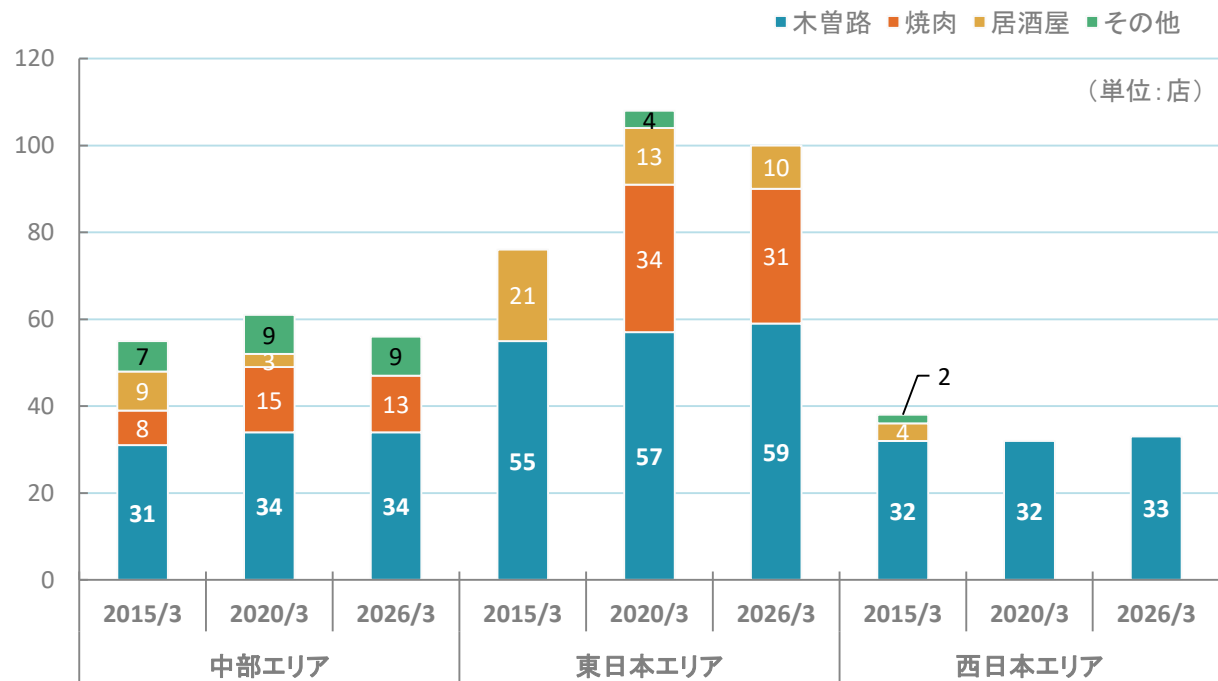


大穴 高田馬場店
2025年8月7日開店



大穴 川崎駅前店
2025年10月1日開店

店舗の配置状況



東日本エリア (100店舗)
 東京都:36店 神奈川県:14店 千葉県:28店
 埼玉県:16店 茨城県: 1店 群馬県: 3店
 栃木県: 2店

中部エリア (56店舗)
 愛知県:47店 岐阜県:4店
 三重県: 4店 静岡県:1店

西日本エリア (33店舗)
 大阪府:18店 兵庫県: 8店
 奈良県: 2店 和歌山県: 1店
 岡山県: 1店 福岡県: 3店

2027年3月期計画

(1) 実績と計画

(単位:百万円)

	25/3期		26/3期		27/3期	
	中期目標	実績	中期目標	実績	中期目標	計画
売上高	55,000	53,229	57,500	54,570	60,000	55,000
営業利益	2,500	2,708	2,850	2,913	3,200	3,200
営業利益率	4.5%	5.1%	5.0%	5.3%	5.3%	5.8%
経常利益	2,530	2,754	2,900	2,929	3,250	3,250
当期純利益	1,600	3,166	1,850	1,728	2,100	2,100
ROE	5.3%	10.9%	5.8%	5.6%	6.5%	6.5%

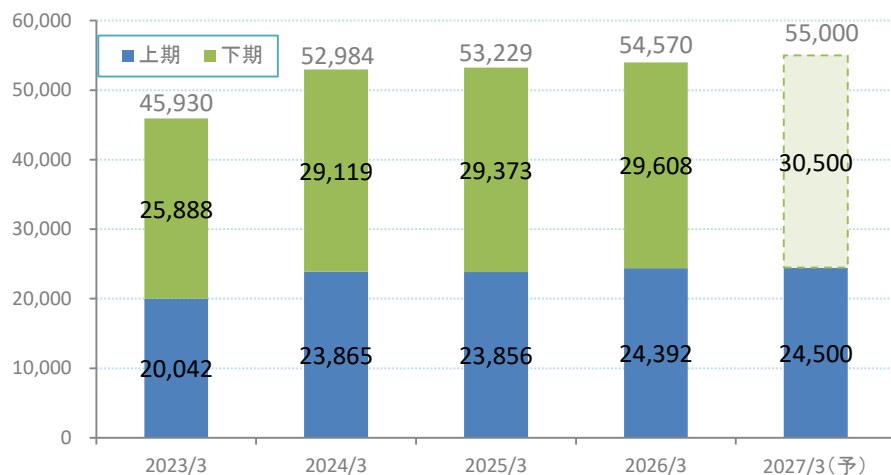
(2) 経営指標の推移

(単位: %)



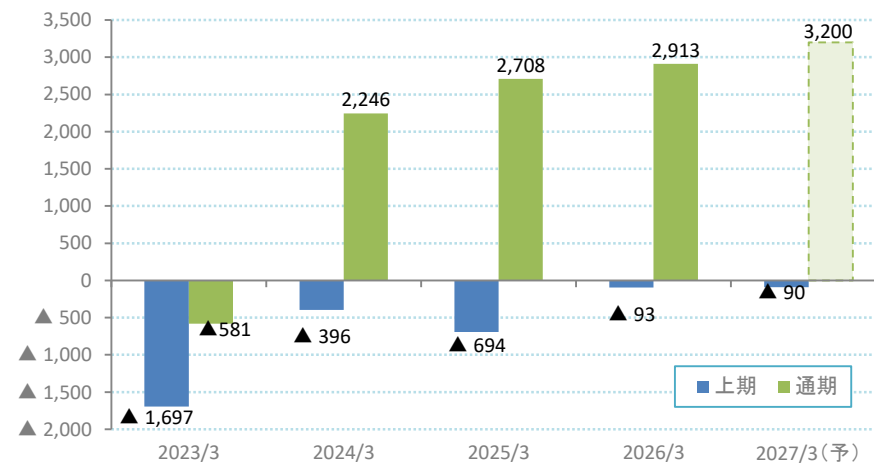
売上高

(単位: 百万円)



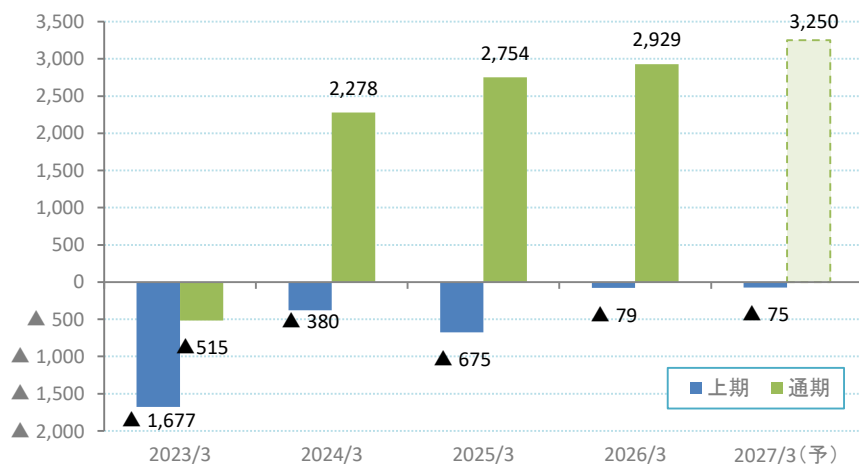
営業利益

(単位: 百万円)



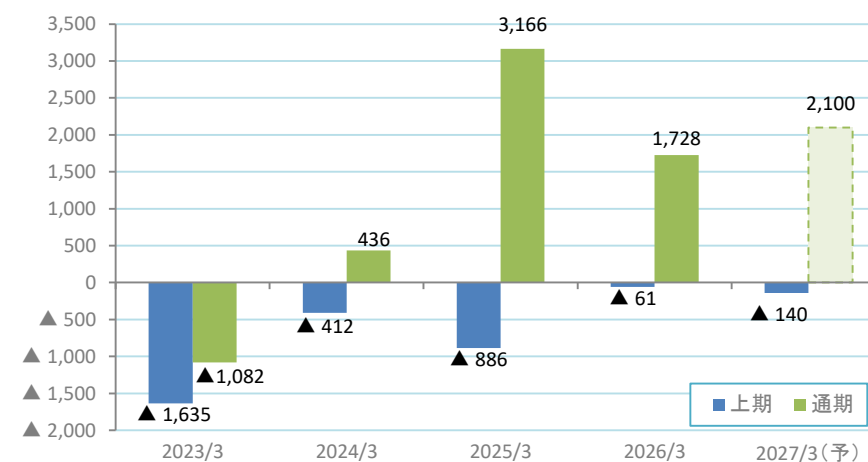
経常利益

(単位: 百万円)



当期純利益

(単位: 百万円)



株主還元

基本方針

利益配分については、将来の事業展開に備え内部留保の充実に努めると共に、株主各位への安定した配当を維持することを基本方針としております。

また、各期の収益状況や配当性向等を勘案して、増配や株式分割など 株主への還元を積極的に行っていく方針でございます。

配当予定と配当の推移

2026/3月期 中間実績 **15円／株** 期末予定 **15円／株**

	中間	期末	合計	配当性向	備考
2023年3月期実績	8円	8円	16円	—	
2024年3月期実績	8円	10円	18円	116.1%	
2025年3月期実績	12円	33円	45円	40.0%	普通配当30円 特別配当15円
2026年3月期(予定)	15円	15円	30円	48.2%	

配当予想

2027/3月期 中間予想 **15円／株** 期末予想 **15円／株** 配当性向 **40.2%**

株主優待制度

基準日現在の株式名簿上に記載または記録された当社株式を100株(1単位)以上保有している株主を対象に年2回の実施し、保有株式数に応じて、当社の飲食店でご利用いただけるお食事券を贈呈いたします。

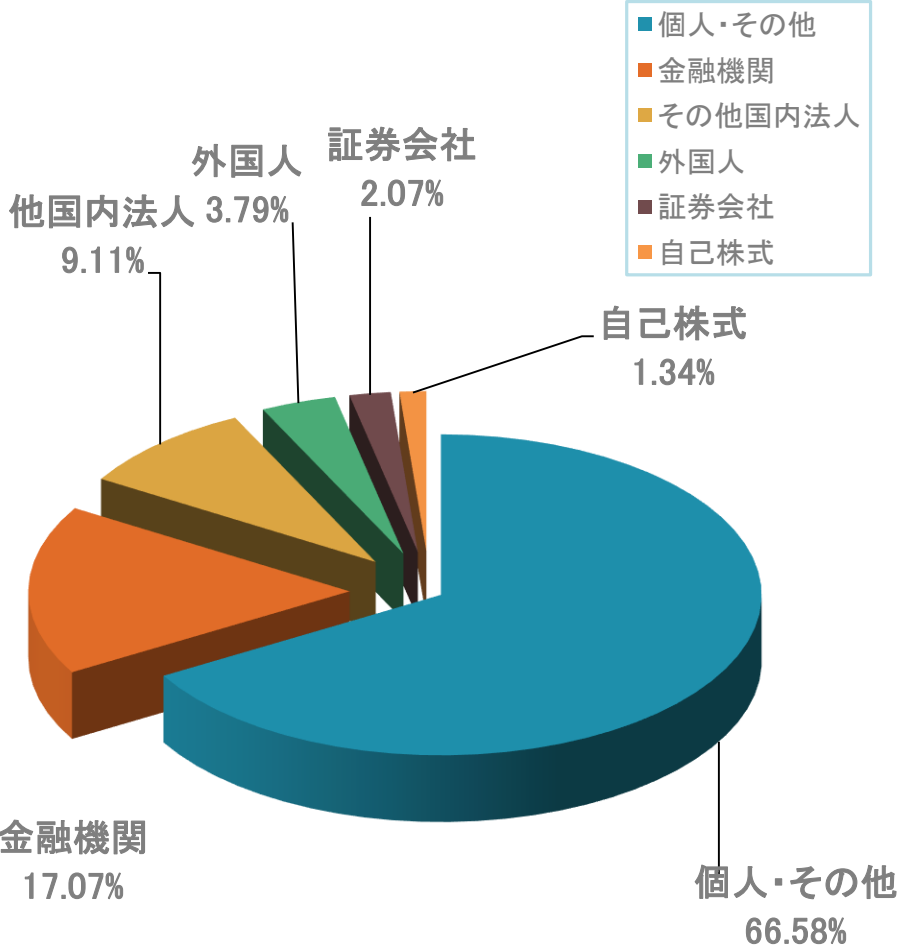
基準日		3月31日	9月30日	(年間合計)
贈呈時期		6月末	12月末	
保有株式数	100株～499株	お食事券 1,600円	お食事券 1,600円	お食事券 3,200円
	500株～999株	お食事券 8,000円	お食事券 8,000円	お食事券16,000円
	1,000株以上	お食事券16,000円	お食事券16,000円	お食事券32,000円



- ・3月31日現在 100株以上ご所有の株主様 6月株主総会終了以降に贈呈 (有効期限:翌年7月31日まで)
- ・9月30日現在 100株以上ご所有の株主様 12月末に贈呈 (有効期限:翌々年1月31日まで)

※本食事券のご利用時における釣銭のお返しと現金への換金はいたしかねます。

所有者別株式



地域別分布状況

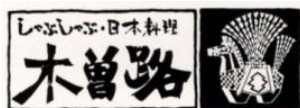
	株主数（名）	株式数（株）	株式数比率（％）
北海道地方	23	10,855	0.03
東北地方	57	32,414	0.11
関東地方	11,836	12,711,092	44.53
中部地方	13,870	10,681,544	37.42
近畿地方	5,639	3,317,920	11.62
中国地方	161	76,059	0.26
四国地方	50	29,156	0.10
九州地方	412	234,868	0.82
国外	64	1,065,890	3.73
合計	32,113	28,543,889	100.00

※合計には自己株式384,090株が含まれております。

株価の推移

(単位:円)





※本資料は、株式会社木曽路（以下「当社」）の一般的な情報提供を目的としており、当社の発行する株式その他の有価証券への勧誘を目的とするものではありません。

※本資料に記載される業界、市場動向または経済情勢等に関する情報は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成しているものであり、当社がその真実性、正確性、合理性及び網羅性について保証するものではありません。

※当社の計画・将来の見通し・戦略などのうち、過去または現在的事実に関する情報以外は現時点における当社の判断または考えに過ぎず、実際の経営成績や財政状態、その他の結果につきましては様々な要因により、予想内容またはそこから推測される内容と大幅に異なる可能性があります。

※掲載された情報やその誤りについて、その理由に関わらず当社は一切責任を負うものではありません。

※本資料は事前の通知なく変更されることがあります。

《IRに関する問い合わせ先》

株式会社 木曽路 経営企画部

TEL: 052-872-1818

E-mail: kouhou@kisoji.co.jp

